



多世代交流・健康増進拠点施設基本設計について

- I 前回専門会議の意見整理(主な発言内容)……P1
- II 配置ゾーニングの検討……………P3



令和3年5月22日

山口市総合政策部スマートシティ推進室

I. 前回専門会議の意見整理(主な発言内容)

整備内容に関する御意見

- ・ 本施設でイベント等を開催時に周辺住民の方に迷惑がかからないよう、防音・遮音の対策が必要である。
- ・ 大屋根広場、文化体験スペース、多目的スペース等を一体的に利用できる設えとするなど、1,000人程度収容できる空間を確保すべきである。
- ・ 温泉の規模は、現在の寿泉荘程度を維持すべきである。
- ・ ペットが入れる温泉の設置を検討してはどうか。
- ・ 飲食機能は、施設利用者に対する飲み物やスイーツの提供などの簡易なものにすべきである。
- ・ 温泉の熱を利用した暖房を検討するなど、脱炭素社会に向けた取組の検討も必要である。
- ・ 湯田温泉の誘客につながるよう、湯田温泉の象徴となるようなデザインやシンボルを取り入れることを検討してはどうか。

他施設との連携に関する御意見

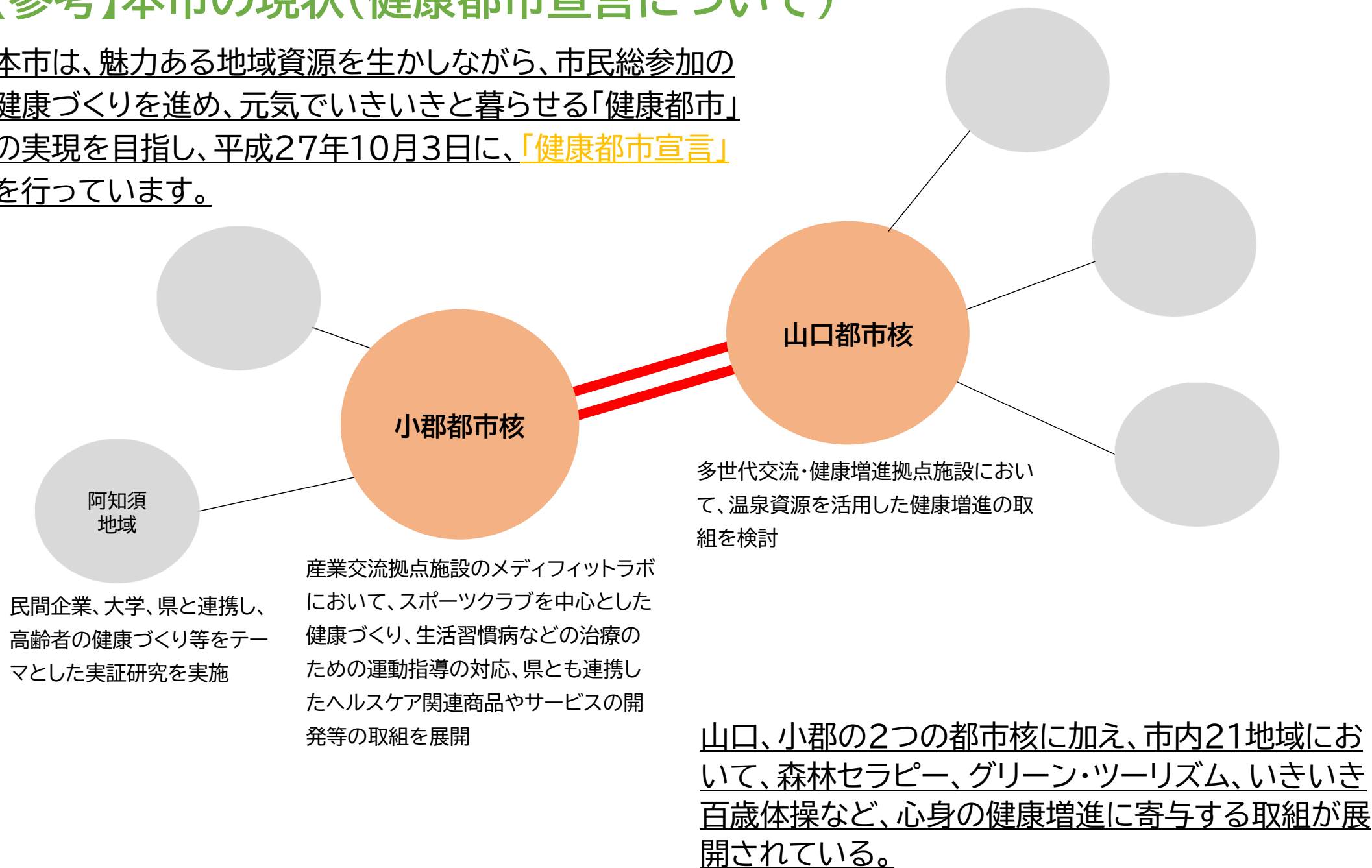
- ・ 産業交流拠点施設を訪れた人が湯田温泉に足を運びたくなるような、湯田温泉の磨き上げが必要である。
- ・ 隣接する地域交流センターとの連携について、動線のみ確保すればよいのか、一体的な空間として連携する必要があるのかなど、条件整理すべきである。

資料作成等に関する御意見

- ・ ◎○△などの評価をつけるなど、評価項目の整理、優先順位付けが必要である。
- ・ 模型を作成し、実際に動かしながら議論を行う必要がある。

【参考】本市の現状(健康都市宣言について)

本市は、魅力ある地域資源を生かしながら、市民総参加の健康づくりを進め、元気でいきいきと暮らせる「健康都市」の実現を目指し、平成27年10月3日に、「健康都市宣言」を行っています。



Ⅱ. 配置ゾーニングの検討

第1回専門会議でお示した7案

【A】レイヤー案（原案ベース）



【B】プロムナード案



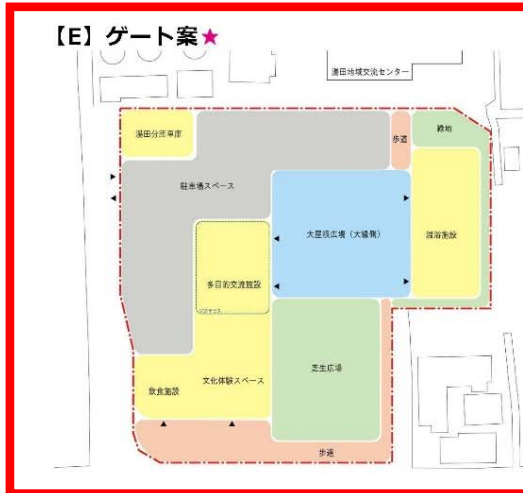
【C】雁行案★



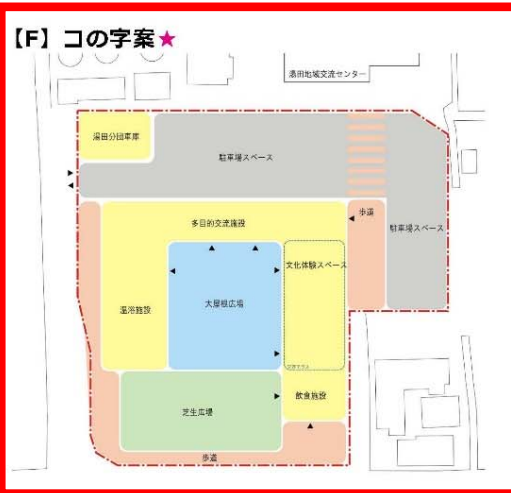
【D】大緑側案



【E】ゲート案★



【F】コの字案★



【G】矩形案



第1回専門会議での議論を踏まえ、C案、E案、F案をベースに、配置ゾーニング案を3案作成

→ 資料2と3で説明